

## 大分県

生活環境部

大分県ではどのくらいの  
二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) が  
出ているの？

**私** たちの家には、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコンなどの電気製品や給湯機器、自動車などがあり、これらを使って生活する中で、電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーを使っています。私たちの暮らしにエネルギーは欠かせませんが、エネルギーを使うと、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生します。

**そ** れでは、県内で排出される二酸化炭素はどのくらいの量になるのでしょうか？ 2014年度（平成26年度）の県内の二酸化炭素排出量は、4,482万4千トンでした。これは、前年度と比べて4.5%減少しています。京都議定書の基準年であった1990年度（平成2年度）と比べると20.3%増加しています。

## 県内の二酸化炭素排出量

単位：千t-CO<sub>2</sub>

	1990 (H2)	2008 (H20)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2014年度増加率	
						対1990年度	対前年度
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	36,390	39,687	44,189	46,339	44,339	21.8%	-4.3%
産業部門（製造業、鉱業等）	28,203	30,969	34,563	36,482	34,863	23.6%	-4.4%
家庭部門	1,300	1,438	2,284	2,328	2,120	63.0%	-8.9%
業務部門（事務所・ビル、卸小売、病院等）	1,452	1,605	2,297	2,362	2,210	52.3%	-6.4%
運輸部門（自動車、鉄道等）	2,097	2,818	2,755	2,785	2,793	33.2%	0.3%
廃棄物部門（廃棄物の焼却等）	168	239	236	231	228	37.5%	-1.1%
工業プロセス部門（セメント製造等）	3,170	2,618	2,054	2,151	2,125	-33.0%	-1.2%

※エネルギーの都道府県別エネルギー消費統計調査が遡って変更されたことに伴い、2013年度以前の県の公表値についても再計算している。

**家** 庭部門から排出される二酸化炭素の量を見てみましょう。2014年度（平成26年度）は212万トン。これは、前年度と比べて8.9%減少し、1990年度（平成2年度）と比べて63.0%増加しています。私たちの身の回りで20年前と比べてみるとどうでしょう。携帯電話、パソコン、エアコン、温水洗浄便座などの電気製品が増えて、テレビも大きくなっていませんか？最近の製品は、当時の製品よりもエネルギー消費がずいぶん少なくなっていますが、それでも家庭での電力の消費量は増えてきています。

## 県内の家庭部門における電力消費量の推移

